

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	学級活動：「電子メールのルール」	
キーワード	電子メール ルール	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	C3：情報社会でのルールやマナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	C3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対行わない。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	メールは便利なツールであるが、メールを受け取る側に立って作る。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル ～電子メールのルール～ キューブキッズ2 キューブメール Ver3.0
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社 & 株式会社モトヤ
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ N e t モラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 映像クリップを見る。(含まとめのクリップ)	・画面に集中させる。 ・まとめの映像クリップも見せる。
展開	2 ドリルを行う(5問) 3 メールを送る時のルール・注意点をまとめる。 4 キューブメールを使ってメールの疑似体験する。	・映像クリップを思い起こしてドリルを行う。 ・相手の気持ちを考えて、受け取った人が嫌がる言葉などを使っていないか考える必要があることをおさえる。 ・キューブメール操作法を教え、クラスの友達にメールを送ってみる。
終末	5 本時の学習をふり返る。	・体験の感想を発表する。 相手の気持ちを考えてメールを作成することができたか。

授業の成果

- ・メールを作成したことのない児童が多かったため、興味深く取り組み、メール自体の簡便さ・面白さは体験できた。メール作成のルールを学習した後のため、悪質なメールを作成する児童はいなかった。

指導のポイント・留意点

- ・メールを作成する時は、受け取る相手の気持ちを考えて作成することをおさえる。
- ・子どもたち同士どんなメールを発信していたか、確認する。